

週間漁海況情報 2022年第8号

令和4年2月22日発行

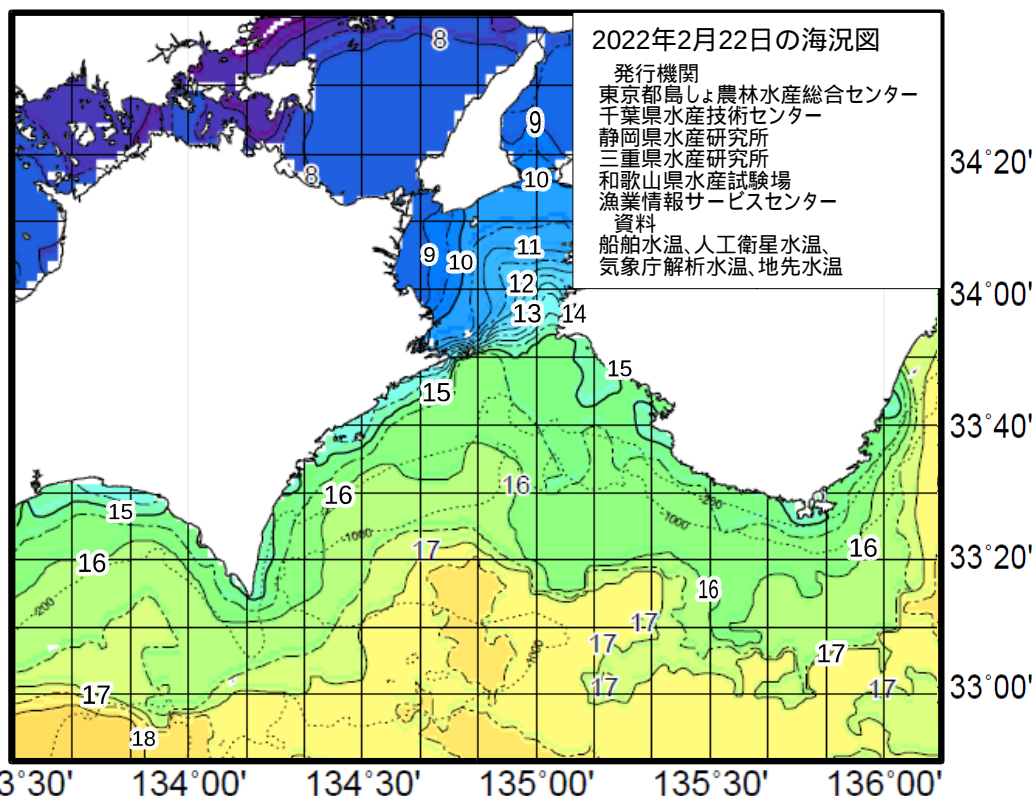
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖130マイル、潮岬沖128マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。

黒潮の表面水温は20 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が8 台、紀伊水道が8～11 台、海部沿岸が14～16 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

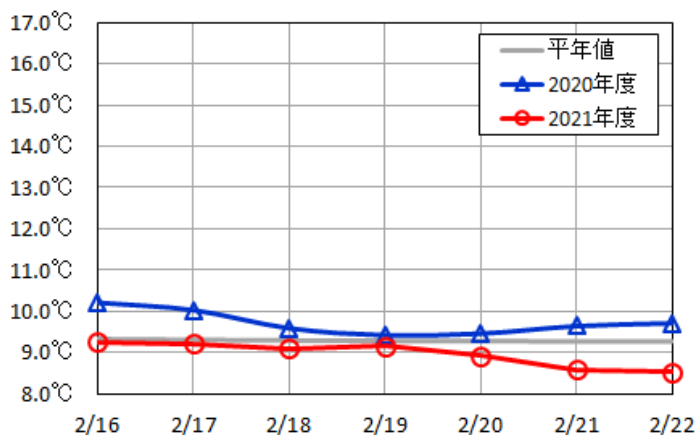
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

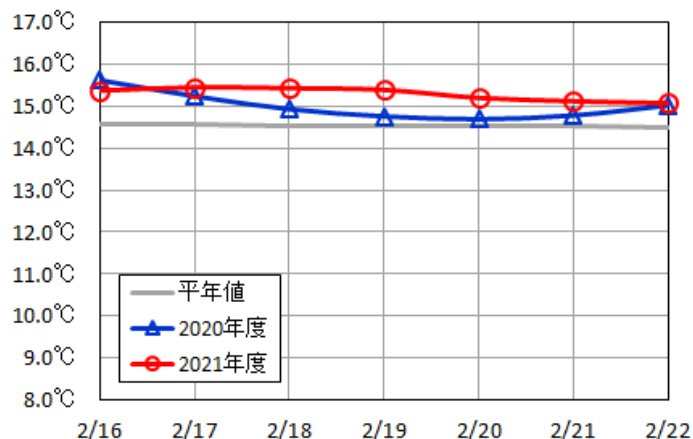
2. 地先水温(2月16日～2月22日)

鳴門地区の水温は9.3～8.5 で「平年並み」から「やや低め」、日和佐地区は15.5～15.1 で「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は6.1～6.6 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(2月23日～3月1日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」から「平年並み」、日和佐地区は「やや高め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (2月14日～2月20日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

延縄では、シマフグが0.6ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.4ト、サワラが減って特大主体に0.2ト、ムツが0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく減って大主体に0.2ト、マダイが大きく減って大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ブリがめじろ級主体に2.5ト、タチウオが大きく減って0.5ト水揚げされた。

延縄では、ブリが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく減って0.2ト、アオリイカが減って0.1ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.7ト、マアジが小アジ主体に0.6ト、イシダイが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	20	シマフグ	568	28		→
		20	ブリ	392	20	めじろ級主体	
		14	サワラ	171	12	特大主体	
		5	ムツ	110	22		→
	小型定置網	2	ブリ	103	51	めじろ級主体	
	底びき網	5	コウイカ	240	48	大主体	
		5	マダイ	146	29	大主体	
海部沿岸	釣り	30	ブリ	2,479	83	めじろ級主体	→
		11	タチウオ	473	43		
	延縄	2	ブリ	166	83		→
	小型定置網	7	カタクチイワシ	221	32		
		23	アオリイカ	122	5		
	大型定置網	6	ブリ	685	114	めじろ級主体	
		5	マアジ	625	125	小アジ主体	→
		2	イシダイ	102	51	大主体	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: